

# 令和4年度「てるしの塾」開講式



第3号

教育委員会

たより



文責  
伊平屋村  
教育委員会  
松田 哲市



「あなたは、なぜ『てるしの塾』で学ぶのか」  
「学ぶこと」は自分事、「自分の人生」を考え、行動しよう

令和四年五月十日(火)伊平屋村離島振興総合センター大ホールにて、塾に参加する中学生・保護者・教職員の参加のもと「てるしの塾」開講式が行われた。

「てるしの塾」の趣旨説明では、基本方針の他、塾で育みたい力として①『「確かな学力」の定着】②『自分の学びを調整する力』の習得】③『目標に向かい、粘り強く取り組む力』の育成を挙げ、つけたい力がつくこと(結果)、①「子どもは、自ら学びに向かうようになる」②「自分の学習の習熟度を把握し、自分で学びの調整ができるようになる」③「子ども達が目標に向けて、最後までやり抜き、目標達成ができるようになる」と説明した。西江邦子教育コーディネーターより、島発ちを見据えた「学力」を身につける重要性や村出身の高校生の追跡調査の結果から生徒・保護者が今一度、考えるべき内容の確認があった。

## 「高校生追跡調査」から見えること

- ①夢を持ち続けている高校生は出席状況や成績も良く、充実した高校生活を過ごしている。
  - ②夢を持ち続けている高校生は、感謝の気持ちを持ち、自分でできる努力をしている。
  - ③夢を持ち続けている高校生は、時間の管理ができています。
  - ④夢を持ち続ける高校生は、人間関係を大切にしています。
- ◎その他  
「行きたい高校」でなく、「行ける高校」に進学した結果、やる気を失い、不登校や休学、転学をした生徒がいます。近年では転学に代わり、成績悪化や出席状況の悪化が課題となっている。



島発ちに向けて(西江邦子教育コーディネーター) 生徒代表あいさつ(泉太陽さん)

「てるしの塾」講師紹介

## 「『てるしの塾』参加心得」

- 1 持ち物(テキスト・ノート・筆記用具)を忘れないこと。
- 2 制服をきちんと着用して出席すること。
- 3 授業(学習)に必要な物を持ってこないこと(スマホやお菓子など)。
- 4 「てるしの塾」で学ぶ目的(目標)をしっかり持ち、参加すること。
- 5 委員会の施設等を大切に利用すること。
- 6 飲食は、塾が始まる前に済ませ、水分補給は休み時間に行う。  
※飲み物は教室に持ちまず、指定の場所(廊下テーブル)に置き、ゴミは各自、持ち帰ること。
- 7 塾の仲間に、迷惑をかけないこと。  
※授業中の私語やふざけは、真剣に取り組んでいる仲間の迷惑になります。学びやすい学習環境づくりを心がけましょう。
- 8 「てるしの振り返りカード」を週1回、しっかり提出しましょう。
- 9 「てるし塾」終了後は、安全面に気をつけ、寄り道せず、速やかに帰宅すること。
- 10 欠席、遅れる場合等の連絡を塾講師に事前に連絡すること。
- 11 塾参加時は、マスク着用や手指の消毒など、感染症対策を徹底すること。 ※予備マスクをカバンに入れておくこと。

## 「『てるしの塾』の開催方針」

- 1 対象者:小学6年生、中学1年生~3年年生
- 2 期間  
◎全中学生は、令和4年 5月~令和5年3月まで  
⇒中3は、週3回、中1、2年は、週2回  
◎小学6年は、令和4年10月~令和5年3月まで  
⇒週2回
- 3 講師(3名)  
一般社団法人 教育振興会  
・小川 宣長(おがわ のりなが)  
・金城 繁(きんじょう しげる)  
・山口 祐也(やまぐち ゆうや)
- 4 学習内容  
【教科】  
・中3は、数・英・国・社・理の5教科  
・中2、1年は、数・英・国の3教科  
・小6は、算・国・英の3教科
- 5 徴収金について(開講式で徴収)  
・テキスト代の一部として、7,000円(年間)